

北海道水産林務部森林土木共通仕様書（平成30年4月版）の制定概要について
北海道水産林務部
総務課 管理グループ

はじめに

北海道水産林務部森林土木工事共通仕様書の「平成29年4月版」を一部改定し、「平成30年4月版」として、平成30年4月1日以降に入札する請負工事から適用することとしました。

改定内容

「平成30年4月版」の主な改定内容は、次のとおりです。

○ 適用すべき諸基準（文献名及び発行年月日）等を見直すとともに、それらの記述との整合性を図りました。 <p style="text-align: right;">（全般）</p>
○ 誤解の招く恐れのある表現の解消や記載内容の明確化を図りました。 <p style="text-align: right;">（全般）</p>
○ 平成29年度で廃止する建設リサイクルデータ総合システム（CREDAS）に伴う建設副産物に係る情報入力について取扱いを記載しました。 <p style="text-align: right;">（1-1-10総則10）</p>
○ コンクリートの標準配合条件に新たな条件を追加するほか、見直しを行いました。 <p style="text-align: right;">（4-3-1コン2）</p>
<u>○ コンクリートの型枠について、設計図書指定の際、道産材の型枠を使用することを原則とすることを記載しました。</u> <p style="text-align: right;">（4-4-3コン11）</p>
○ ふとんかごの中詰用栗石については、ふとんかごの厚さが50cmの場合は15cm～20cmを標準としました。 <p style="text-align: right;">（5-3-13一般3）</p>
○ 第10章橋梁及び第11章鋼橋塗装について現行の基準をもとに見直しを行いました。 <p style="text-align: right;">（第10章～第11章）</p>
○ 「森林土木工事安全施工技術指針」の一部改正（平成29年11月10日付け29林整計第232号林野庁森林整備部長通達）を記載しました。 <p style="text-align: right;">（第3編付表6）</p>

注意事項

工事を施工するに当たっては、契約図書である共通仕様書の該当項目を必ず確認の上、実施願います。

適用年月日

平成30年4月1日以降に入札する請負工事から適用します。